

令和5年度 四万十市立利岡小学校「学校評価」結果報告書

※1 外側円グラフ…令和5年度結果 / 内側円グラフ…令和2年度結果
 ※2 ■ そう思う (A) ■ やや思う (B) ■ あまり思わない (C) ■ 思わない (D)

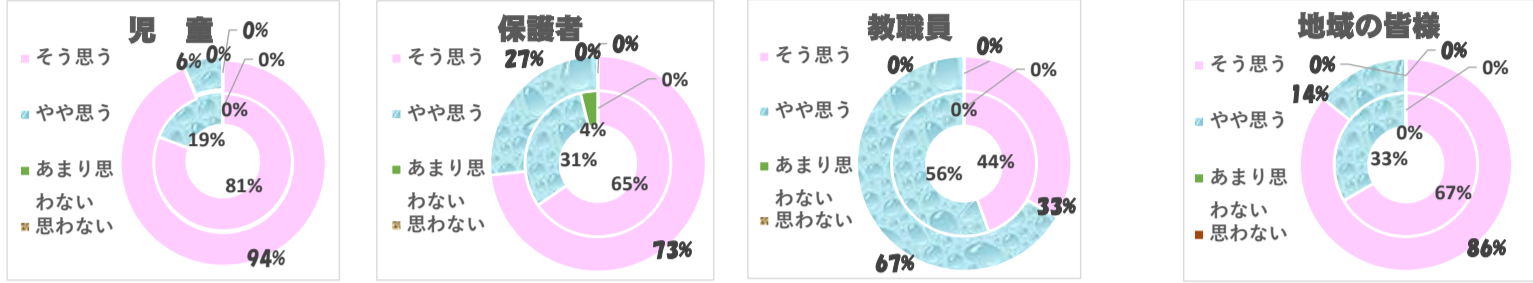
令和6(2024)年1月実施

※ 下記の質問項目に変更後の経年変化をみるため、令和2年度との4年スパンでの比較を行った。

1 4 or 3者共通項目

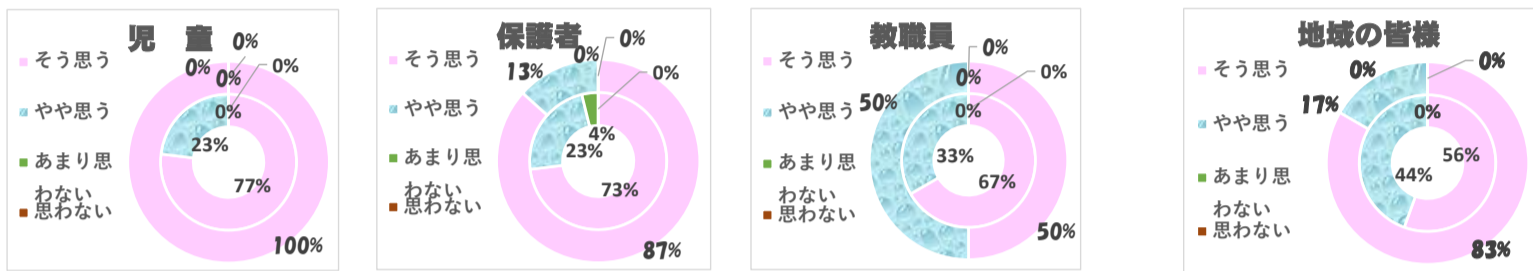
1 学校生活に満足していると思う (👧 学校生活が楽しい)

学校の教育活動は満足できる状態である



2 学級が楽しいと思っている (👧 自分の学級が楽しい)

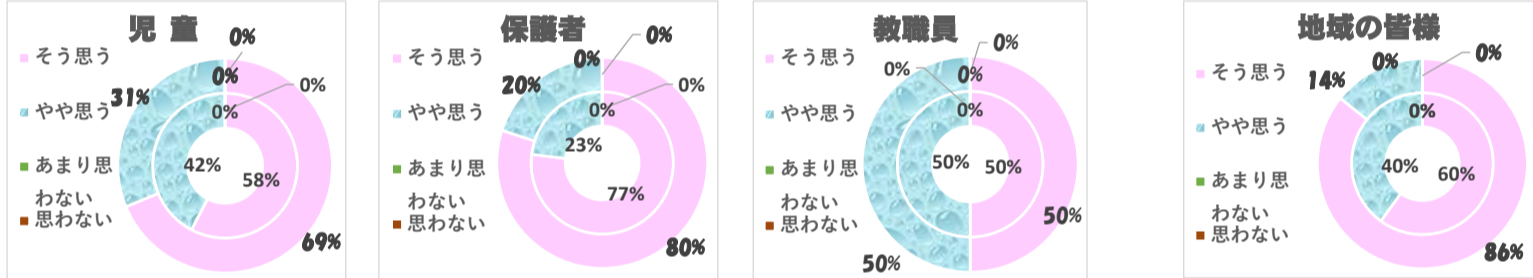
児童は充実した学校生活を送っている



児童のほぼ全員が、4段階の最高評価すなわち『学校・学級が楽しい』と評価していることとして、4年前と比して地域の皆様＝学校外の目からみての子どもたちの様子、学校生活・行事等での姿に好意的な評価をいただいたことを本当に有り難く思っている。本校教職員の日頃の尽力が報われた心持である。保護者評価及び教職員の自己評価でのA評価100%を目指して、学校・学級経営に邁進したい。

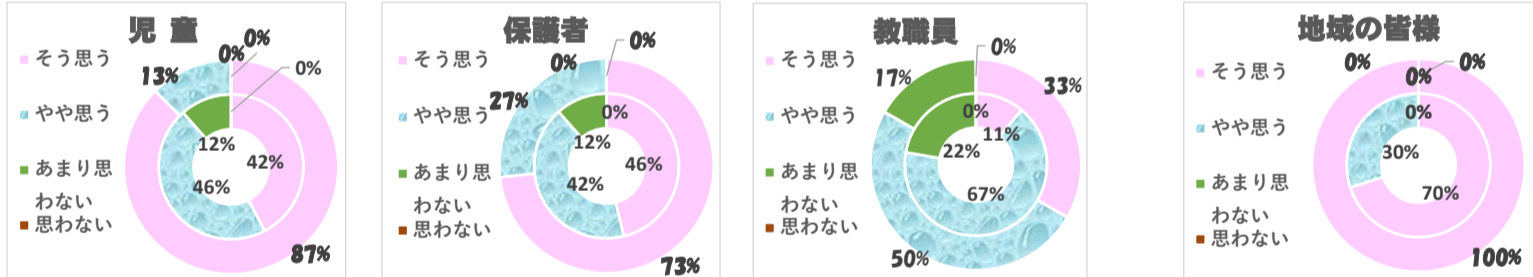
3 授業が分かる [👩 分かる授業に努めている]

教職員は意欲的に教育活動にあっている



児童、保護者とも微増である。地域の皆様からは教育活動への教職員の意欲を評価いただいているが、児童からのA評価の更なる上積みに向けて、単元プランの充実やタブレット端末等のICT機器の活用などに努めていきたい。

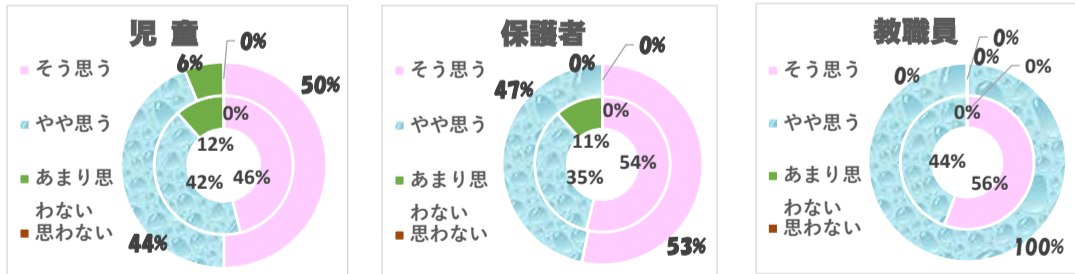
4 挨拶や返事ができている (👧 元気な挨拶ができる)



私(校長)が赴任した4年前には学校としての大きな課題であった本項目であるが、大きく改善している。4者ともA評価が大きく増加している。学校に直接届けていただく地域住民の皆様の声の中にも「最近の利岡小学校の子どもたちの挨拶は素晴らしい」「遠くからでも聞こえる元気な声に元気をもらっている」などのお褒めの言葉が多くある。“利岡小の校風”の域を目標に児童、教職員一体となって引き続き取り組んでいきたい。

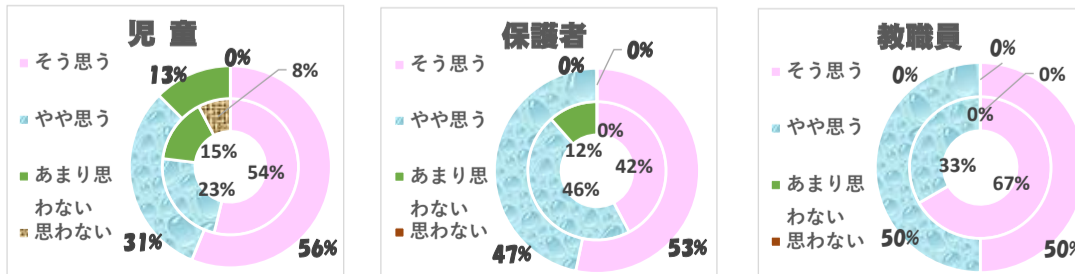
5 基本的な生活習慣が定着している (👧 早寝・早起き・しっかりご飯ができています)

4年間の成果・改善があまりみられない数少ない項目である。早起きの励行と、特にメディア時間(ゲーム・TV・SNSやYouTube等のインターネット関係)の歯止めについて課題が継続している。ネット絡みのトラブル・犯罪から子どもたちを守るためにも、課題解消に向けての取組を工夫していきたい。

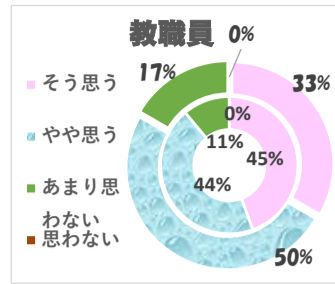
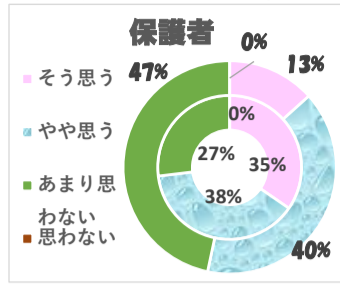
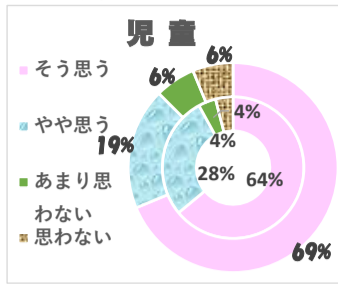


6 家庭学習習慣が定着している [👩 手立てができている] (👧 保護者に言われずに進んで勉強している)

上記項目同様、A評価の割合など良い方向への変化があまりみられない。家庭学習につなげる授業、家庭学習(予習)を生かした授業に努める等、児童の学習意欲や興味関心の涵養、学びへの自発的な動機付けなどに注力していくことで改善を図りたい。

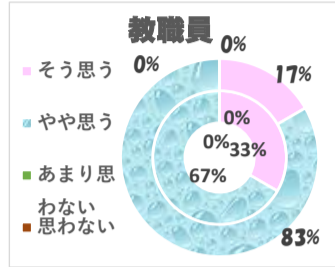
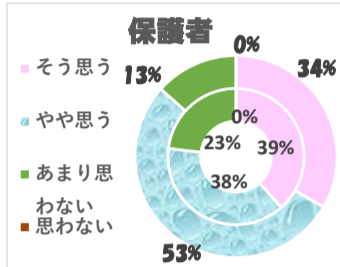
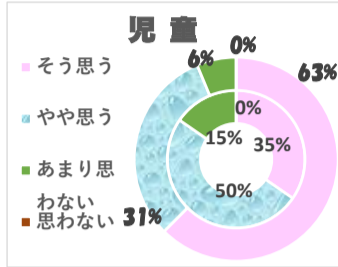


7 将来の目標や夢を持っている [☑持てるよう努めた]

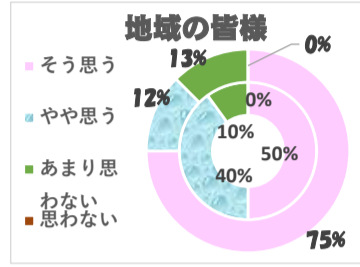


昨年度末に有意に向上した『将来の目標・夢を持っている』の項目だが、今年度は低下し、児童は4年前と同等、保護者は否定的な回答が半数となりむしろ悪化している。小学生年代で将来の目標は難しい面もあるが、成長と共に変わっていても良いので“夢”は持たせてやりたい…!?

8 (児童が) 悩み・困り事を教職員に気軽に相談している

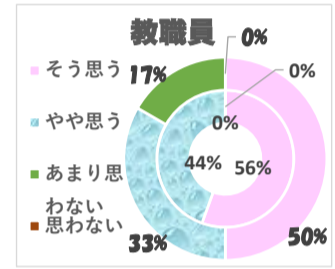
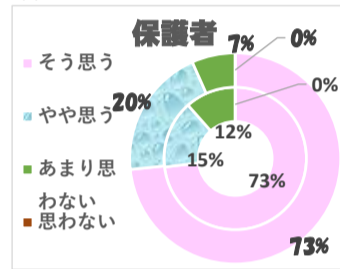


学校は気軽に行きやすい雰囲気である

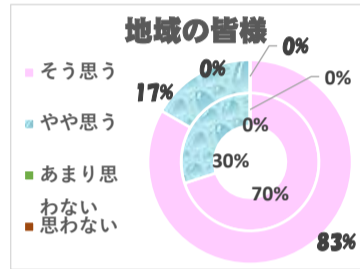


児童の評価は(昨年度と同様)大きく向上しており、学級担任や養護教諭等の尽力の賜物だと考えている。ただ、総合的にみると保護者と地域の皆様からの“学校の敷居”の高さには、大きな変化がみられない。多くの学校においても最も評価が低い項目の代表格ではあるが、何とか改善を図りたい。

9 家庭(・地域)への情報発信に積極的である



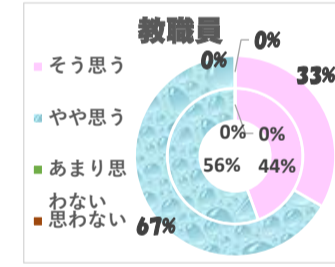
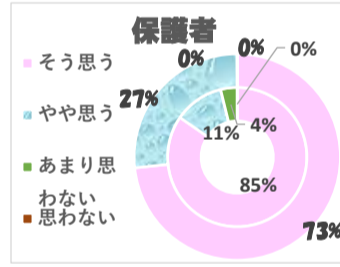
学校は情報発信の努力をしている



保護者評価と教職員の自己評価は横ばいあるいは若干の低下傾向がみられる。地域の皆様からの評価が微増していることを糧とし、学校ホームページの内容見直しやこまめな学校・学級通信の配布とその内容の充実に努める必要がある。

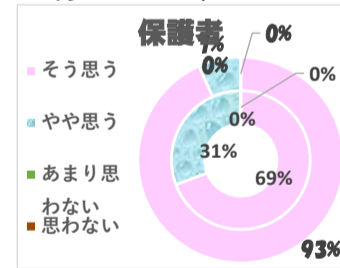
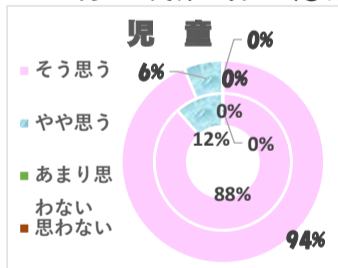
2 二者共通項目

10 学校(担任)と保護者のコミュニケーションがとれている



『両者のコミュニケーションの主導権は、第一義的には教職員が握っている。改善策を考えていく。』と昨年度にコメントしたが、状況は変わっていない。両者とも100%肯定的な回答ではあるが、その質の更なる向上に努めていきたい。

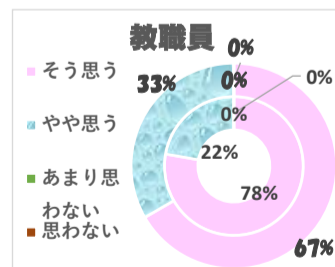
11 友だち関係は良い (☑仲良しの友だちがいる)



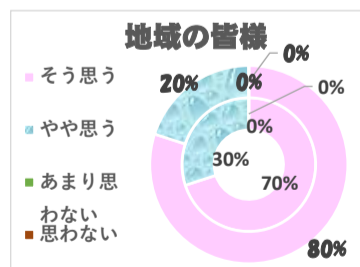
保護者からの評価が大きく向上している。昼休みや放課後に学年の別なく、上級生が気遣いをみせながら楽しく遊ぶ姿に、そのことを実感している。各学級単位での様々な取組と全校レクや縦割り班での活動の充実に腐心してきた成果が顕れていると好意的にとらえている。

12 児童の安全に配慮できた

教職員の自己評価、地域の皆様からの外部評価とも大きくは変化していないが、高評価が定着していると捉えている。児童の命を守ることは、学校の全ての教育的な営みの中で最優先すべきことであるということを肝に銘じておきたい。

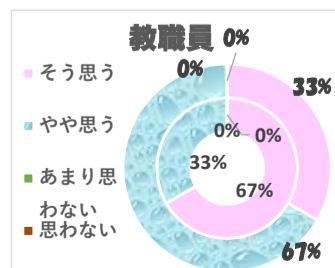


学校は児童の安全に配慮している

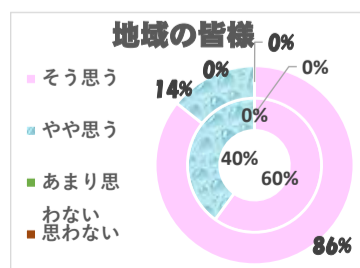


13 地域と連携した教育活動ができている

昨年度まではコロナ禍の影響を主要因として悪化傾向が続いたが、学校行事等の制限緩和と(コロナ禍前からの)リニューアル等の取組によって、地域の皆様からの評価が向上している。コロナ禍の最中の後川中学校休校(現在は廃校)によって行事の削減等を行ったことに否定的な意見もあったが、一定の高評価がいただけたことを素直に喜びたい。



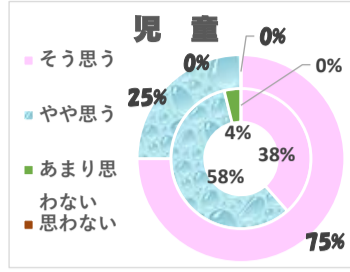
地域や保護者と連携した教育活動ができている



③ 単独項目

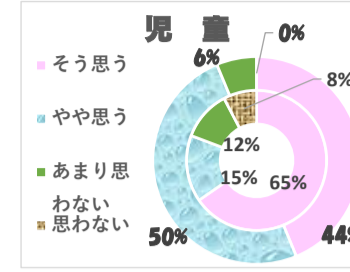
① 児童のみ

14 授業で考え・思いをハッキリ・しっかり言えている



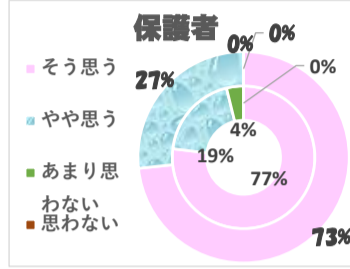
3年間でA評価が20ポイント増、今年度は更に20ポイントの上積みがあった。「校長先生からの(3つの)課題」の中で唯一残っていた項目であったが、2学期末に暖簾を降ろした。今年度、プレゼンテーション力の向上に校内研究のテーマとして取り組んだ成果として、児童と各担任の頑張りに感謝したい。なお“忘れ物”についてはむしろ悪化傾向にあるので、次年度に向けて改善策を模索していく。

15 学習用具を忘れずに持ってきている



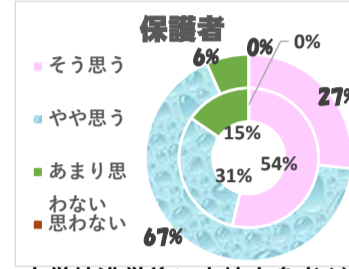
② 保護者のみ

16 学校での出来事を(児童と)話す



変わらず家庭での子どもたちとの会話に努めていただいている。毎日、仕事に追われている中で、平日の参観日にもほぼ100%の出席をいただいていること等と併せて、本当に感謝している。

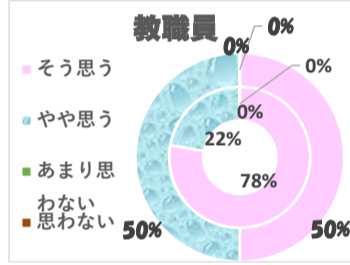
17 ゲームやTV、スマートフォン等の使用時間やルールを決めている



中学校進学後に本校出身者がSNSを巡るトラブルに巻き込まれる事案が少なからず生じている。世間一般と同様、ネットと無縁の生活はもはや不可能ではあるが、保護者と学校が「子どもたちを(ネットトラブルから)守るのは大人の務め」という共通認識のもと、できることに取り組んでいきたい。

③ 教職員のみ

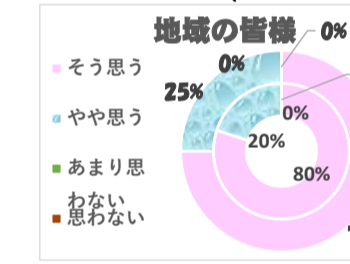
18 校舎内外の環境美化に努めている



旧後川中学校舎に年度末始めに移転するという大事業を無事に終えることができ本当に安堵している。陽当りや風通し、湿気によるカビと異臭からの解放等の多くの福音を享受している。校舎内の備品整理等に追われ、内外とも環境美化には手が回らなかった面は否めないが、保護者や地域の皆様、ご協力いただいた全ての皆様そして、教職員全員に心から感謝申し上げます。

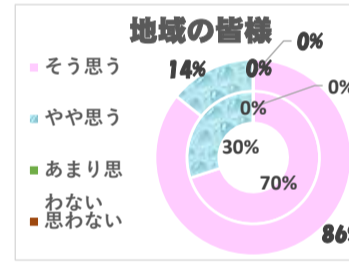
④ 地域の皆様のみ

19 教職員の接遇(挨拶や電話対応等)は丁寧である



ほぼ横ばいではあるが、自由記述欄には地域の皆様からの好意的なご意見が複数みられた。ただ、教職員間での接遇における個人差は存在するので、引き続き接遇マナーの職場としての向上を図りたい。

20 自転車の乗り方等、児童はルールやマナーを守っている



元々、児童の交通マナーには高評価をいただいていたが、年々少しずつA評価が増えてきた。子どもたちの命に直結することなので、年度初めの「交通安全教室」のみならず日々の安全指導を更に強化していきたい。

- ◆ 本アンケートの回答者(属性)
- 児童 16名
- 保護者 15名(兄弟姉妹1名につき1回答)
- 教員 6名
- 地域の皆様 8名〔学校運営協議会委員等〕

- ☞ 教職員への質問(の文言)
- ※ ☺ 児童への質問(の文言)

★ ご報告と御礼

年明け直後の公私ともご多忙の中を本アンケートにご協力いただいた全ての皆様、本当にありがとうございました。今年度も、いただいたご意見等は“学校への通知票”として次年度の学校経営のあり方を検討、協議する際の貴重な資料・道標として最大限に活用させていただきます。

昨年5月8日の新型コロナウイルス感染症の5類移行によって、「アフターコロナ」へのほのかな灯りが見えてきました。学校として、3年と数ヶ月の間 停滞していた行事等の再開や活性化、新たな取組への挑戦に取り組んできました。

また、旧後川中学校舎への移転という大仕事を多くの皆様のご協力・ご助勢により無事にやり遂げることができました。上記でも述べましたが、重ねて厚く御礼申し上げます。

先日の高知県教育委員会関係者の学校訪問では、(国や高知県教委による学力調査の結果等に裏づけられた)変わらぬ高い学力や学びに真摯に向き合う子どもたちの姿、学年の別なく仲良く遊ぶ姿、元気な声でのさわやかな挨拶等への賞賛の言葉をいただきました。また本校と大規模校の両方を見学等をされた上で、本校への転入を決めていただいた(私の赴任後)3組目のご家庭がありました。校区内在住の児童激減という逆風にさらされてはおりますが、知徳体の全てにおいて確かな力を蓄えた利岡っ子の魅力的な姿と、それを支える保護者と地域の皆様、献身を惜しまない教職員集団がある限り、それ(逆風)をはね返し続けられると信じています。

これからも利岡小学校の未来を明るく、希望に満ち溢れたものにできるよう、本校教職員一同の力を結集し邁進してまいりますことをお誓いして、「令和5年度 学校評価」のご報告と御礼とさせていただきます。

令和6年3月末日
四万十市立利岡小学校長 濱口 明大